

# 次年子カブ

～古くから受け継がれてきた在来作物～



制作：北村山視聴覚教育センター

### 【制作の意図】

山形県には、他県に比べて在来作物が多いといわれている。近年、県や山形大学農学部を中心に県内の在来作物の調査・研究が行われており、在来作物がひそかに注目を集めている。

北村山地区にも在来品種が多く存在するが、生産者の数は高齢化とともに減少してきている。大石田町の西部にある次年子地区では、古くから次年子カブという在来作物が栽培されているが、これも例外ではない。

長年次年子カブを作り続けている森さんの作業のようすを通して、次年子カブの栽培のようすを記録として残し、広く知ってもらいたい。そして、在来作物はその土地の特色を生かしながら代々受け継がれてきた伝統文化であり、それをこれからも未来へ伝えていきたいという願いを込めて制作した。また、小学校の社会科の地域の農業の学習でも活用することを考慮し、わかりやすくまとめた。

### 【あらすじ】

- 次年子カブの種の紹介
- 大石田町次年子地区の冬の景色
- 次年子カブ生産者森保夫さん、千代さん夫妻の紹介
- 種植えのようす
- 成長のようす
- 間引きのようす
- 消毒のようす
- 牛房野カブの焼き畑のようす
- 収穫のようす
- 次年子秋の味覚祭りでの販売のようす
- 森さんへのインタビュー

平成23年制作  
再生時間 14分